

ネパール便 7号

1. ピアエドゥケーター研修

ナマステ！

6月下旬に、約半年ぶりにフィールドに出張に行ったので、その様子をアップします。今回は、UNFPAの対象郡の1つでありネパール中西部に位置するダン郡に行ってきました。

ネパール便り5号でも紹介したのですが、今年もUNFPAの支援でネパール家族計画協会（Family Planning Association of Nepal : FPAN）がピアエドゥケーター研修を実施しています。今回は、本研修とその直後にピアエドゥケーター主催による地域住民を対象とした思春期リプロに関する集会を視察する予定でした。そして、このネパール便りにも載せようと思っていました。が、ネパールで悪評高いゼネスト（「バンダ」とよんでいる）のためにオリエンテーションは延期になり、本旅行中に視察することができませんでした。

今回視察したのはいわゆるリフレッシュ研修（再研修）であり、つまり既に一度研修を受けたピア・エドゥケーターを対象に行われたものです。



写真左上：再研修の参加者。

写真右上：左側に立っている人がトレーナー。FPANのピアエドゥケータートレーナーとしてダン郡で多くの研修を行ってきたそうです。

写真下：中央の人は、UNFPAダン郡事務所の所長です。オープニングの挨拶をしてもらいました。



今年のピアエドゥケータープログラムでは、ただ研修を実施するだけでなく、研修を受けたピアエドゥケーターに様々な形で思春期リプロの啓蒙活動を行ってもらうことも計画しています。その様子を近々紹介できれば、と思っております。

2. ダン郡のユースフレンドリークリニック

ネパール便り5号では、マホタリ郡のユースフレンドリークリニックを紹介しましたが、ダン郡でも同様に UNFPA の支援で昨年ユースフレンドリークリニックを開設したので、視察してきました。ちなみに、今回紹介するクリニック以外に、同郡では3つのクリニックが開設されています。



写真左上：センターの外観。バス停の近くにあり、便利なところにあります。



写真右上：センターの診察室。基本的な医療器具や、ベッドが設置してあります。

写真下：診察室の隣は青少年達の集会室。ここで、思春期リプロのことを話し合ったり、もちろんそれ以外の目的でも集まります。ほとんどが既に研修を受けたピアエドゥケーターです。



さて、このクリニックですが昨年は平日はほぼ毎日診療を行っていたそうなのですが、今年に入って UNFPA の当クリニックへの財政支援を減らした関係か、診療日が週 2-3 日に減ってしまったそうです。なぜこうなったのか、背景などから書き出すと長くなってしまうので割愛します。FPAN ダン郡事務所は UNFPA にさらなる財政支援を求めています、同時に FPAN 側の自助努力も必要なのではと思います。



3. ダッカでのワークショップ

7月第3週に、セーブザチルドレンの招待で、バングラディッシュはダッカで行われた「青少年と家族計画プロジェクト」の研修に行ってきました。セーブザチルドレンがバングラディッシュ、ネパール、マラウイの三ヶ国で、青少年の家族計画サービスの向上を目的としたプロジェクトを実施しており、その一環としてこのワークショップが行われました。プロジェクトの性質上、UNFPA や関連ある政府の人も招待されたのです。

ワークショップの内容は、リプロダクティブヘルスというよりは、どちらかといえば家族計画に特化しており（そして、敢えてそのようなアプローチを取っているのだそうです）、各国のプロジェクトサイトではどのような介入を行うのがいいか、などについて議論しました。私もただ座って話を聞いているわけにはいきません。UNFPA の観点から、そして自分の今までの経験などを含めて、プロジェクトに関する意見やアドバイスなどを行ってきました。

ネパール以外の人達と触れ合えただけでなく、国連以外の人達と久しぶりにどっぴり触れ合うことができ、自分の視野を広げるという意味では非常に有意義なワークショップでした。



写真上：主催者、参加者と一緒にパチリ

写真下：街中はすごい渋滞。これにはホトホト疲れ果てました。



4. <<番外編>>チトワン訪問2

前回からかなり間が開いてしまいましたが、チトワン再びです。前回も書きましたが、インド国境近くのタライ平原にチトワン国立公園という自然保護公園があり、ここはヒマラヤと並んで大きな観光地のひとつでもあります。

チトワン国立公園は動物がたくさん見られるので、小さい子供には格好の場所かもしれません。私も娘を連れて2回も行ってきました。



<<写真右>>ゾウが川で水浴びをしている様子

<<写真左>>観光客がゾウの背中に乗って一緒に水浴びをするアクティビィ



<<写真右>>チトワン国立公園に沈む夕日

<<写真左>>牛車。この写真では現地の人が乗っていますが、観光用の牛車もあるんですよ。

というわけで、次回をお楽しみに！

飛田紫峰 (Youth Development Officer)